



桐田の里

八王子市立桐田中学校

平成29年1月11日

学校だより No.26

〔教育目標〕〇進んで学習する人になろう 〇仕事に精を出す人になろう 〇心身ともに健康で思いやりのある人になろう

何事も最初が肝心、努力なくして成果なし

1月10日(火) 始業式講話 校長 黒島永虎

冬休みが終わり、3学期が始まりました。冬休みはいかがでしたか。2学期の終業式で冬休み中にやってほしいことを3つ話しました。1つ目は勉強、2つ目は家での係分担、3つ目は親戚の方々との交流でした。皆さん実行できましたか。自分なりに充実感や手応えを感じることができた人もいます。それぞれがきちんと振り返ってみてください。

さて、2017年も始まりました。今日は2つのことについて話をします。1つ目は“最初が肝心である”こと、2つ目は“努力が大切である”ということです。終業式の話の最後に、「年が明けた元日には平成29年の目標を自分自身に誓い、素晴らしい一年のスタートとしてください。」と呼びかけました。スタートが大切であるということは、いろいろな日本語にも表現されています。“一年の計は元旦にあり”という言葉は聞いたことがあると思います。これは、昔の中国の言葉が日本に伝わり、江戸時代中期には、「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」と表されたそうです。一日の始めである朝の早い時間に、その一日の計画や予定に思い巡らせ、又元日には一年の目標を決め、心積もりをするという意味です。また、「始め良ければ終わりよし」という言葉もあります。これは、始めが大事で、始めがうまくいけば順調に進み、最後により結果が得られる、という意味です。つまり、2つとも『何事も最初が肝心だ』というたとえです。皆さんは、一年の初めに今年目標を考え、さあ頑張ろう、という気持ちでスタートしましたか。まだだという人は、今からでも遅くはありません。ぜひ今年一年の自分に思いを巡らせ、気持ちを高めてみてください。

ところで、今年の干支は酉、酉年ですね。酉のつく年は運氣や人を取り(酉)込み、商売繁盛につながると考えられています。「酉」という漢字はもともとお酒を入れる器から成り立っていて、成長や熟成を表しているそうです。その器の中身になるお酒は、その原料である果実などが極限まで熟した状態なので、“今まで頑張ってきたものの成果があらわれる年”との考え方があるそうです。今まで頑張ってきた成果があらわれるといっても、全員にあらわれるのでしょうか。当然、努力をしない人に結果はついてこないと思います。“努力した人ほど成果があらわれやすい年”であると解釈したほうが良いと思います。

この一年ということで一般的に考えれば、3年生は4月からは新しい環境での生活が始まります。2年生は最上級生になり桐田中のリーダーとなります。1年生は桐田中の中心としての活躍が始まります。ぜひ、いい一年にしてください。もちろんそのスタートは今日から始まる3学期です。3年生はなんといっても受験です。第一志望の合格に向けて全力で取り組んでください。1・2年生はそれぞれの行事への取組と新しい学年に上がる準備が重要になります。

『何事も最初が肝心である』、『努力なくして成果なし』、この二つをしっかりと考え、いい一年のスタート、そしていい3学期のスタートとしてください。

始業式での代表生徒の言葉

3学期にがんばりたい事

ぼくが3学期にがんばりたい事は、勉強とスキー移動教室です。勉強で特にがんばりたい事は、国語の漢字練習です。むずかしい漢字や複雑な漢字をたくさん習いたいです。スキー移動教室は、2泊3日の宿泊学習です。ぼくは、スキーの初心者なので、ストックの持ち方や滑り方などをいろいろ学びたいです。ルールやマナーを守ってがんばります。

3学期の学校生活での目標は、たくさん学ぶことです。もうすぐ2年生になりますが、分からない事がたくさんある状態で大人になって仕事をすると、仕事の内容も分からなくなるので、今からしっかり学んでおきたいです。行事でがんばりたい事は、職場訪問です。職場に入って、そこでどんな事をするのか気になるからです。3学期、そして2年生になっても授業や行事をがんばります。

1組代表 臼井 遼河 (1-1)

3学期に向けて

1年生のラストの3学期、3学期には大きな行事のスキー移動教室があります。この行事は1年生の団結力が問われる行事だと思います。2学期、この学年では成長できた部分もありましたが、いくつかの問題もありました。LINEでのトラブル、仲間はずれ、不要物の持ち込みなどです。「他の人には関係ない」、「別にみんながやってるしいいよね」、「ちょっとくらいいいかな」という言葉が、もしかしたら大きな事につながってしまうかもしれません。

みなさんは「ハインリッヒの法則」というものを知っていますか。これは1件の大きな事故や災害の裏には、29件の軽微な事故や災害があり、さらにその裏には300件のヒヤリ・ハット、つまり、事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットした事例があるとされるものです。この法則を導き出したのがハーバード大学のウィリアム・ハインリッヒという人物です。彼はある工場で発生した労働災害5000件余りを統計学的に調べ、導き出したのが「ハインリッヒの法則」です。1件の重大な事故を防ぐためには軽微な事故を減らし、軽微な事故を防ぐにはヒヤリとした、ハットしたことを減らさなければなりません。

2学期、学校でヒヤリとした、ハットしたできごとはありませんでしたか。その一つ一つが大きな事故につながっていきます。チリも積もれば山となる、いい事も悪い事もだんだんと大きくなっていきます。3学期は良い事の積み重ねができるようがんばって次につなげていきましょう。

1年生代表 宗廣 茉由子 (1-3)

3学期始業式

みなさんは冬休みをどのように過ごしましたか。それぞれいろいろな過ごし方があったと思います。今日から3学期です。2年生では鎌倉校外学習があります。1年生のスキー移動教室で学んだことを活かし、3年生の修学旅行を見据えて取り組んでいきたいです。

私たち2年生は学級代表委員が校外学習の実行委員になり、張り切っています。実行委員会や班長会を中心に学年全体が真面目に取り組んでいて、今から絶対成功すると感じています。実行委員会では、一からスローガンや決まりなどを考えました。校外学習のスローガンは、「Grow up! 集団の力! 突き進め、最上級生への道!」です。毎回の実行委員会でたくさんの時間を使って、そのくらいみんなが一生懸命がんばっています。

2年生の3学期は、3年生の0学期とも言います。そのくらい3学期は大事な時期だという事です。自分たちの進路と真剣に向き合わなければいけない時期がきました。3年生になってからあわてるのではなく、今のうちから取り組んでいくことが大切です。その中でもまず出来ることが、1・2年生の復習だと思います。一日一日を大切に3年生で良いスタートを切れるようにしましょう。

2年生代表 角田 みさき (2-2)

受験に向けて

栢田中学校に入学してからの三年間は長いようで短かった気がします。今年受験を控え、去年とはまた違う想いで三度目の冬を迎えました。一日一日が大事なこの頃、私は、現在の自分の状況に危機感を覚えています。日に日に迫る受験へのプレッシャーや模試の点数などに押しつぶされてしまいそうで、とても苦しいです。やらなければいけない、でも自分の中の弱い気持ちとそれに対抗し、思いどおりにいかないことがあります。そんな弱い今の自分を打ち砕くためにも、自分の中で三つのことを決めました。

一つ目は、自分に必要だと思えば必ずやることです。今の自分の中に足りないものはたくさんあります。その穴を埋めるために、たとえ面倒でも行うようにします。二つ目は、好きなことを優先させないことです。これはこの言葉のとおりで、自分がやりたいと思うことを我慢し、本来やるべきことに対して向き合い、しっかりとこなしていくことです。三つ目は、あとで絶対に後悔しないようにすることです。受験が終わってから、「あの時もっと勉強していたらな。」と思うのは絶対に嫌だからです。

この三つは、一見当たり前のように見えますが、それはとても難しく大変なことです。でも、これを自分なりにこなすことができれば、自然と結果は出てきます。だから、私はこの三つの決まりを守って、今の自分から少しずつ成長し、受験を成功させたいと思います。

今まで受験のことについて話をしてきましたが、受験が終わったらゴールではありません。むしろ、そこからがスタートで、自分の人生や夢に近づく基となると思います。だから、残りの中学校生活を充実させ、受験に向け頑張りたいと思います。

3年生代表 伊藤 琢磨 (3-5)